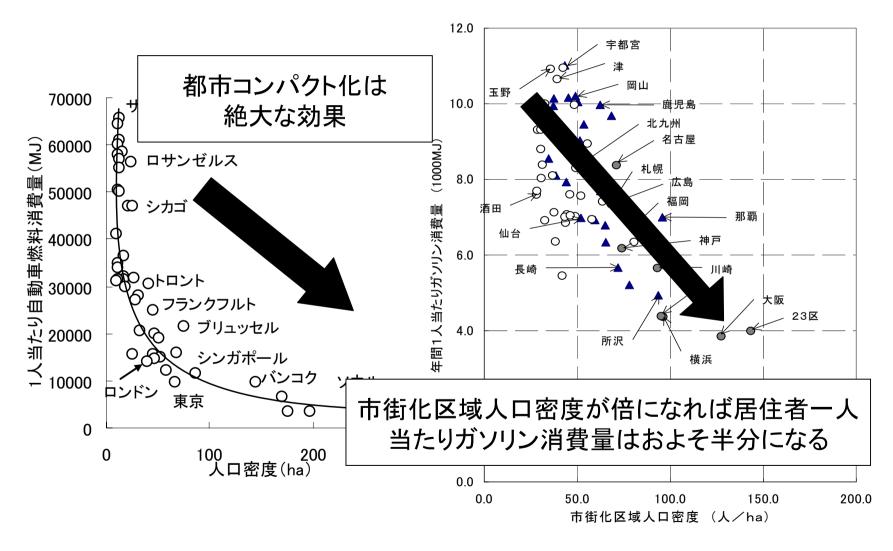
社会資本整備審議会 都市計画・歴史的風土分科会 都市計画部会 都市政策の基本的な課題と方向 検討小委員会

実は知られていない「基本的な課題」?

平成20年9月9日

岡山大学大学院 環境学研究科 谷口 守

90年代にやっていたことから



1999 Newman&Kenworthy

1999 谷口守•村川威臣•森田哲夫



都市コンパクト化政策 日本だけが取り残されていた

```
国連ブルンドランド報告(サステイナビリティ)
1987
1989 ノルウェー TP10
    オランダ 国家環境政策
1989
    英国 PPG13
1994
   ドイツ アアツボルグ憲章
1994
    (ドイツでは減少化時代の都市の未来形としてはや
     くから位置づけ)
```

転機: 2000年 国土交通省コンパクトシティ講演の機会

反応:「お話の内容はよくわかりましたが、コンパクトシティがよいとは法 律には書いてありません」

『何としても<u>行政担当者</u>の考え方を変容させたい!』

2007年までに取り組んだこと

1)各学会で特集号組む、特別セッション実施

2001:不動産学会(都市コンパクト化を考える)、

2002:交通工学(コンパクト市街地と都市交通)、

:計画学(コンパクトシティの光と影)他

2) 国などへ働きかけ、協働

2001:国土交通省で検討委

2002:都市交通全国会議:パネル

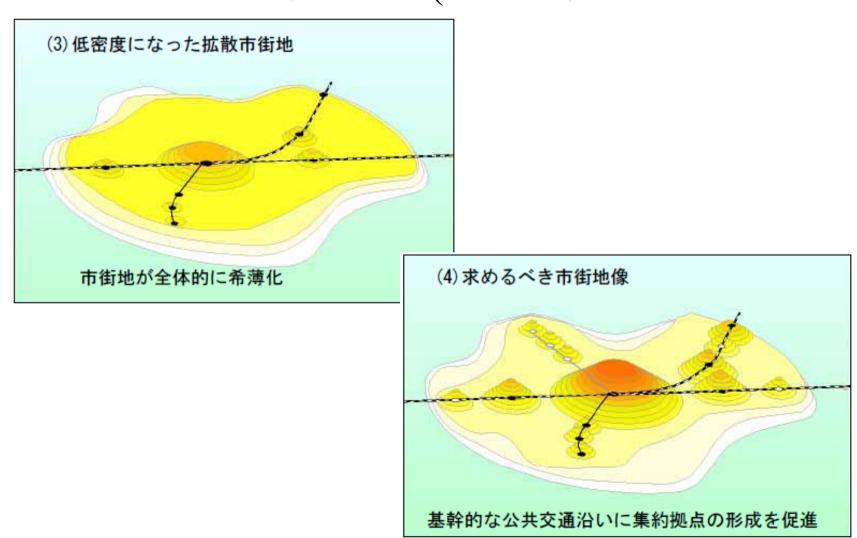
2002: 政令指定都市 連絡協議会

2003: 国土交通省(中国地整)でPRパンフ

2005~: 国土審、社会資本整備審の中でも認知

2007.7.: 社会資本整備審議会 第2次答申

社会資本整備審議会 第2次答申 集約型都市構造(コンパクトシティ)の実現に 向けて (2007.7.)



2006年頃より

研究室に電話がかかってくる

ディベロッパーさんより

うちがやっているこの事業は「コンパクトシティ」ですよね。

「うん」と言ってください。

きちんと伝えないと・・・。

都市計画関連団体や自治体での講演の 機会を活用 (主対象:自治体の都市計画 行政担当者)

→2007年よりコンパクトな都市づくりに関するワンショット型のレクチャー(OL)を実施

OL行脚 データの揃った7回分の話

実施 順No.	実施日	会合名	開催 都市	回答サ ンプル数	調査対象者の概要
1	2007年 7月20日	市街地整備 促進協議会	東京	53	札幌市から鹿児島市に至る全国29市 の区画整理業務担当者が主対象
2	10月4日	市街地再開発 事業研究会	水戸	76	約300万人の人口を有する横浜市から 人口約10万人の生駒市までを含む 様々な規模の32市の都市再開発事 業担当者が主対象
3	11月30日	FCC(土木学会 関西支部) フォーラム	大阪	55	近畿地方における都市・交通計画に 関連する行政職員、民間事業者が主 対象
4	12月6日	EST創発 セミナー	岡山	46	中国地方における都市·交通計画に 関連する行政職員が主対象
5	2008年 2月1日	コンパクトシティ 講演会(鳥取県)	米子	135	都市計画に関わる県職員を中心に、 一般県職員、地元議員を対象
6	2月13日	広島県議会 拠点づくり講演会	広島	33	広島県議会議員と県職員が主対象
7	5月15日	まちの再生・活性化 ありかた委員会講演	津山	32	市職員と津山市市議会議員が主対象

回答した都市計画担当者、政治家の所属自治体(全部で72自治体:14県55市3町)

人口規模		市町					
地方	県	100万以上 500万未満	50万以上 100万未満	15万以上 50万未満	15万未満		
北海道·東 北	青森県	札幌市 仙台市	_	八戸市 郡山市	-		
関東	山梨県 埼玉県川 神奈川県 東京都 茨城県	さいたま市 横浜市 川崎市	船橋市 相模原市 千葉市	足利市 浦安市 水戸市 鎌倉市 厚木市 越谷市 ひたちなか市	坂戸市 土浦市		
中部	愛知県 石川県	名古屋市	静岡市 浜松市	金沢市 豊田市 長野市 豊橋市	掛川市 島田市 茅野市 刈谷市		
近畿	大阪府 兵庫県	神戸市 大阪市	堺市	西宮市 尼崎市 姫路市	生駒市 池田市		
中国•四国	香川県 岡山県 鳥取県	広島市	岡山市 松山市	境港市 倉敷市 高松市 福山市	倉吉市 米子市 津山市 大山町 南部町 江府町		
九州	沖縄県	福岡市	熊本市 北九州市 鹿児島市	久留米市 那覇市 宮崎市	_		



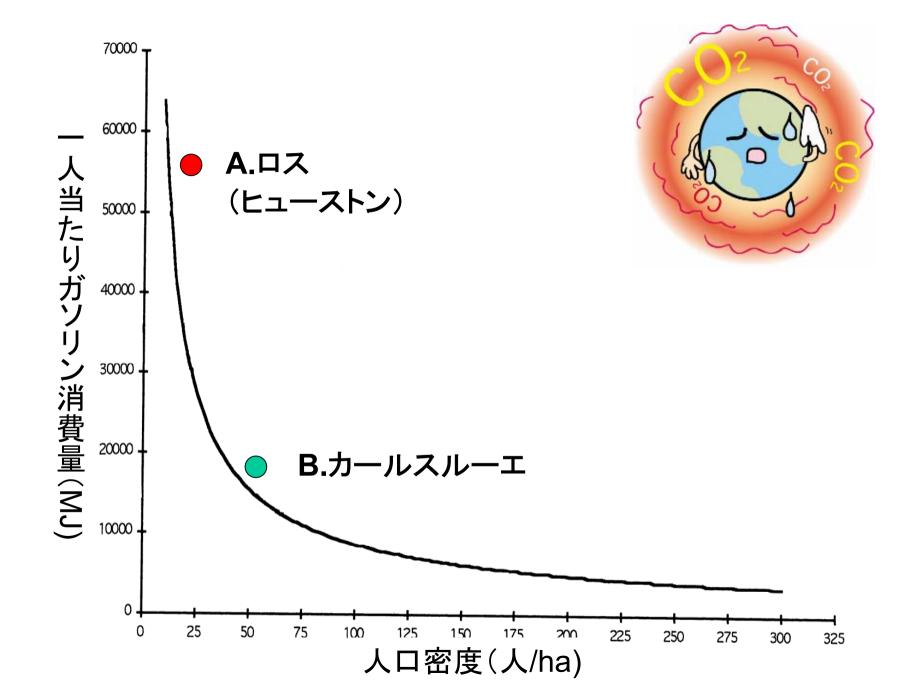




0.1 ヒューストンhttpwww.top-city-photos.comhouston_city_photographs.htm







OLによる態度変容



A)コンパクトシティに関する 知識がある (n=426)

B)コンパクトシティ(考え方)を 受け入れられる

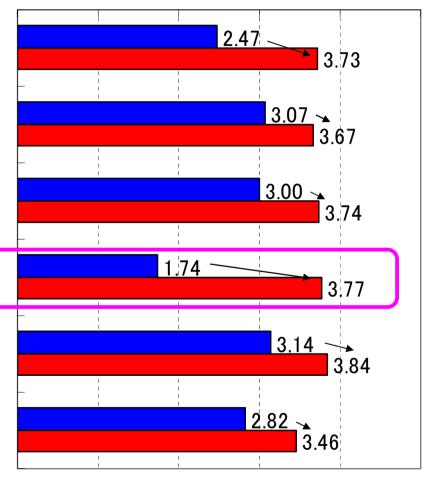
(n=424)

C)自分が取り組む気持ちがある (n=425)

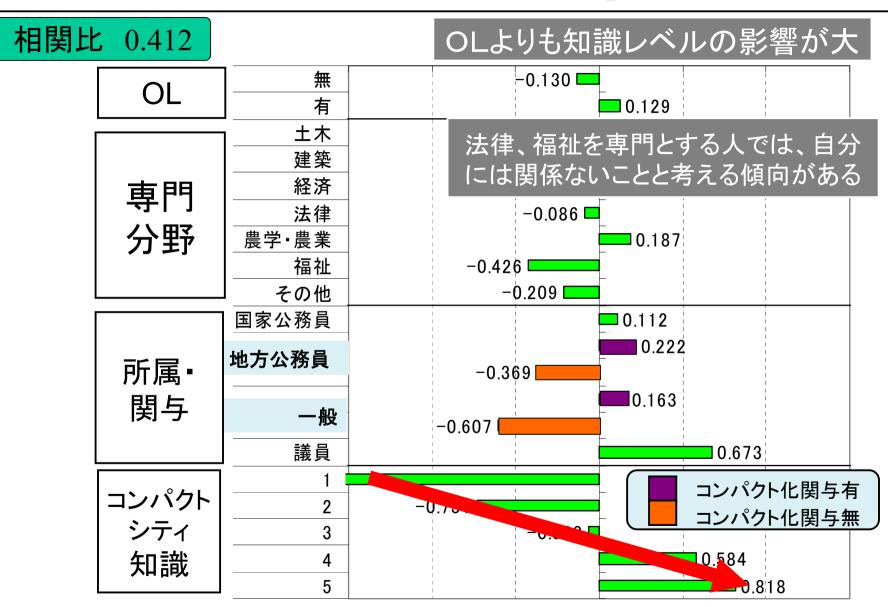
D)コンパクトシティは実現可能と思う (n=416)

> E)都市基盤整備がその実現に 不可欠と思う (n=422)

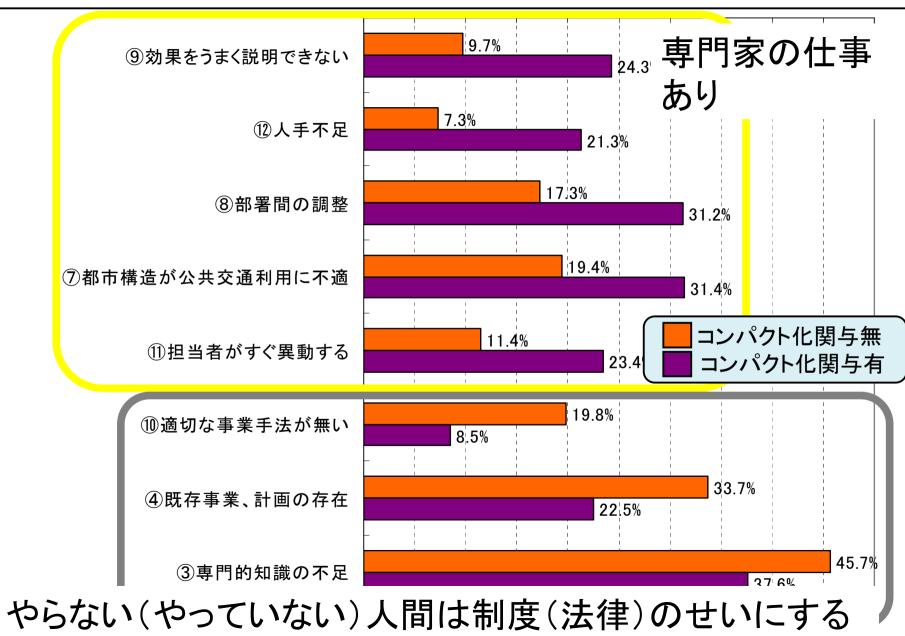
F)自分の役割が重要であると思う (n=425)



「CCづくりに自分の役割は重要であると思う」の態度形成要因



コンパクト化関連業務に関わった実績の有無による障害の違い



2007 ある学会のシンポ ある大手SCトップのコメント

「私たちは法律を守ってまちづくりを行っているのであり、法律に違 反することは何一つ行っておりません」

マタイによる福音書23章

偽善なる律法学者 パリサイ人よ あなたがたはわざわいである 杯と皿の外側は清めるが 内側は貪欲と放縦で満ちている ・「法律」や「法律の専門家」が悪いというのでは全くない。

・我々一人が法律や制度を言い訳にして、思考停止、行動停止してしまうことが、人口減少型社会における都市計画を進める上で今まで以上に問題。

おわりに

- 1)「基本的課題」が実は「制度」以外の部分にある、ということが「基本的課題」
- 2)担当者自身がコンパクト化などどうせ「できない」と これほど強く思い込んでいる。
- 3)しかし、簡単なレクチャーを受けるだけでも担当者の態度は変わる。
- 4)「知識」と「経験」が役割意識を育む。
- 5)取り組んでいない人ほど「制度が悪い」せいにする。
- 6) 求められているのは、客観的な説明のための「ツールの整備」、および「人の配置」。